

「黒潮圏科学」とは

専攻長 奥田一雄

黒潮圏総合科学専攻というと、みなさんは黒潮を研究しているように思うかも知れません。しかし、私たちは黒潮そのものではなく、黒潮圏科学という新しい学問概念を打ち出し、自然と人間の共生を目指す研究を進めています。では、黒潮圏科学はどのような学問なのでしょうか。

黒潮はフィリピン東沖を起点として台湾付近から南西諸島、そして九州沖や土佐沖を経て房総半島沖まで流れる大海流です。それゆえ、黒潮は周辺地域の気象や、生物の分布、人間の生活などに大きな影響をもたらしています。地理的に黒潮と黒潮の影響を受ける広汎な海域と陸域全体を狭義の黒潮圏域とよびます。そこにはインドネシア、マレーシア、フィリピンなどの熱帯諸国、台湾、中国、本邦などの亜熱帯から温帯までの諸国が含まれています。一方、これらの国々には当然ながら多くの人間が住み、それぞれ様々な人間生活と活動が営まれています。そのため、諸国間で文化や経済面での交流が進むだけでなく、自然破壊や公害、食料不足、疫病などの問題も国境を越えて発生し、拡大してきます。このように、広義の黒潮圏域は、そこにある自然とそこに住む人間の活動および諸問題等を含んだ全体を指すということになります。

広義の黒潮圏域は黒潮で結びついている運命共同体です。そこには、様々な環境や物質、多様な生物と人間を含む地球を構成しているすべての要素が存在しています。そこではまた、地球規模の環境問題、食糧問題、人口問題なども象徴的に表出してきます。これらは1つの地域や国の問題を越え、世界的に取り組んで解決しなければならない大きな課題です。このことは同時に、黒潮圏域を地球全体のモデルとして研究することで、地球規模の諸問題のありかを明らかにし、ひいては解決への道程を導き出せることを示しています。このような見地で、人類が自然と共生し、持続的に生存できる社会のありかたと方向を科学的に研究する学問が必要であり、私たちはこの学問を黒潮圏科学と称しています。

黒潮圏科学は黒潮圏域の地域の諸問題に必ずしも直接対処するわけではありません。言い換えれば、その場の対症療法的、モグラたたきの対応に終始する学問ではないのです。黒潮圏科学では、たとえば、一見別々に起こる諸問題から、どのような人間活動が地球の環境や生態系を攪乱しているのかという根本的な因果関係を明らかにし、人間活動の方向性を転換させることを考えます。また、現在行っているまたはこれから始めようとする人間活動が自然界の正常な物質循環に及ぼす影響を評価し、それが悪い影響であればどのような予防策を採ればよいかを考えます。

黒潮圏科学を実現するには、問題を俯瞰して把握し、専門分野を越えて分析し、協働して解決の道を探ることが必須です。そのため、黒潮圏科学は細分化した従来型の学問ではなく、文理融合した新しい学問分野として創出されたのです。

以上のような黒潮圏科学のもつミッションとコンセプトを理解し、対象とするそれぞれの専門研究を深化させつつ、その研究を黒潮圏科学の目標につなげて発展させる意欲と想像力、行動力を磨くところ、それが、黒潮圏総合科学専攻です。